



第 449 号 平成 27 年 12 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

運動器検診の実施に当って

会 長 林 鐘 声

例年は11月に全国学校医大会があり、その報告を12月号にするのが恒例ですが、今年は12月5日(土)、松山市で開催されることになっていて、今月号にその報告を載せることが出来ません。そこで、運動器検診について11月末までに決まっていることを報告します。

平成28年4月1日から四肢(運動器)の状態の検査が必須項目となったのは、平成26年4月30日の省令に始まります。法律の次に実施法の提示は今秋に発表となりました。児童生徒等の健康診断マニュアル(平成27年8月25日発行)のP26~28のことで、先生方には一般販売となるのを待って10月末にお届けしておりますので、既に目を通された方もいらっしゃると思います。一読して、そのままでは学校現場で使うことは難しく独自のマニュアルがなければ円滑に進まないことは明らかです。10月28日に大阪で日本学校保健会主催の講習会が開催されましたが、踏み込んだ発表はなく、結局はP26~28の内容から逸脱しない範囲で、現場で使えるものを用意する必要にせまられました。そこで、京都市教育委員会、養護教諭及び学校医会からの代表者による会合を11月に2回持ち、四肢(運動器)の状態の検査マニュアルを作りました。同封しているのは、その核となる“四肢の状態の検査 問診票”(A4版)です。この問診票を中心に説明します。

全体の構成は保護者、養護教諭、学校医の記入欄の3部に分れています。太枠内の保護者記入欄は(1)~(3)に分れ、(1)(2)は児童生徒の背景を知り、何か所見のある時の参考情報となるものです。(3)の①~⑨の質問は新しい保健調査票の整形外科項目を少し改題しています。所見のある時

には○を入れてもらい、所見のない時は空欄のままです。右半分の上段にある「学校での様子」は学校での健康観察ということで、養護教諭が体育・クラブ活動などの日常の健康観察の情報から、四肢の状態に気になることがあれば書く欄です。

検査・検査結果は学校医が記入を要する所です。実施した検査で所見のある時に✓を入れるようにしており、所見がない時は✓を入れる必要はありません。

検診時の実際の運用について少し説明します。机の上には各自の問診票がある状態で検診が始まります。問診票には保護者の記入と学校での様子の記入(後者は特記すべきことがなければ空白のまま)が済んでいます。学校医は内科検診の際に全員に脊柱検査を行ってきましたが、今までは脊柱検診として視診だけで済ませて、前屈テストを省略していたこともあったかも知れません。しかし、前屈テストは必須となっています。検査で4つの所見を挙げていますので、所見があれば✓を入れて下さい。その時は専門医受診にも✓を入れることになるのが普通だと思います。姿勢注意は今までと同じく残してあります。検査所見には問題なしの項目が本来ならば必要ですが、実際は殆どが問題なしとなることから、そこにいちいち✓を入れる労力を省くためにその項目は敢えて作っていません。限られた時間で行う集団検診であること、学校医の手間暇を軽くして検査に集中してもらうことを重視したためです。

四肢の状態の検査に移ります。通常は内科検診+脊柱検診に引き続いて行います。四肢の状態の検査ですので目的の部位が観察できるのであれば着衣で行うことになります。イラストにあるような半袖・

半ズボンが望ましいということです。検査対象者は質問の②～⑧に○のある例，⑨に記載のある例，あるいは学校の様子に記載のある例です。更に，検診時の歩容の様子が気になれば，検診の対象者に加えて下さい。学校医は○があれば，その欄のイラストにある検査を行います。例えば③に○があるとバンザイと肘の曲げ伸ばしの検査をするということです。学校での様子に記載のある場合は該当する検査を選んで行って下さい。⑨はO脚，X脚，オスグッド病，シーヴァー病が出てくるかも知れません。その対応は学校医の判断にお任せします。

整形外科専門医受診は学校医が判断します。マニュアルにあるのは，学業を行うのに支障のあるような疾病，異常がある場合となっていますが，それだけでは判断が難しい場合が多く，少なくとも痛みや動きの悪いのが1ヶ月以上あったり，左右差がある例で，そのために専門の医療機関を受診していない時は，専門医受診を勧める目安としました。そのため②～⑥の保護者記入欄にa，bの設定問を加えています。即ち，②～⑥で○が3つ揃っていれば，専門医受診と考えて作りました。aが空白の場合，即ち医療機関で既に治療中の時には本来，専門医受診を求めることは不要と思いますが，十分な問診と観察の上，判断して下さい。bが空白の場合，至急性のあるものは専門医受診，また，経過観察としても1ヶ月経過してその症状に改善なく医療機関にも受診のない時には，専門医受診のお知らせを保護者へ出すように考えています。その際には，学校から学校医に相談があるかも知れません。どうぞ宜しく指示を出して下さい。⑦⑧については，多くは運動機能不全が主体ですので，ストレッチや体操などの学校での保健指導対応で十分の時には，要指導に✓を入れて下さい。現在，京都整形外科医会に①～⑧の姿勢注意，経過観察，要指導の保健指導書の作成をお願いしています。

実施に当たっていくつかの問題点があります。

(i) 四肢の状態の検査の対象者数が読めません。学校種による差もあって小学校<中学校<高等学校となると思います。中学生では50%近い対象者が出るデータもありますが，20～30%というところでしょうか。

(ii) 児童生徒がスムーズに検査協力できるでしょ

うか。家庭あるいは体育の授業などで動作検査の5パターンは練習させて欲しいところです。(i)と関連して検診時間がどれぐらいになるでしょうか。動作検査とその評価で1人1分かかるのでは大変です。

(iii) 対象者のうち専門医受診を要する例は，専門医から指導があります。一方で，姿勢注意，経過観察，要指導となる例にこそ，学校から適切な保健指導がなされなければなりません。整形外科医会の協力を得て，実のある保健指導書とその活用が望まれるところです。

(iv) 内科健康診断(脊柱検査・四肢の状態の検査)のお知らせを持って整形外科を受診する際，“何でこんなんで来たんや”と云われることはないでしょうか。そうならないよう，今回のお知らせには学校医のチェックした所見名を挙げて，どこに問題があるかを明示したお知らせを作りましたが，果してどうでしょうか。(iii)とも合わせて整形外科医会の理事会に挨拶に行くことになっていますが，整形外科医会に所属しない整形外科医もいることから，一筋縄ではいかない心配もあります。

(v) 内科検診+脊柱検診だけでも大変な上に，四肢の状態の検査も加わり，しかも検査所見を学校医が自分でチェックすることを求めることになりました。児童生徒等の健康診断マニュアルのエッセンスをはずさないようにするとともに，学校医の負担を出来るだけ少なくしようとした結果なのですが，果して納得して頂けるものとなっているのでしょうか。

最後になりますが，最終調整中の「四肢の状態の検査マニュアル」が完成しましたら，京都市教育委員会から学校医の元へ届けられます。それを参考としながら，養護教諭との事前の打ち合せを十分に行い，検診の実施方法，それぞれの役割分担について確認して検診に臨んで下さることをお願いします。12月8日には養護教諭冬季研修会にて，この問診票を中心に説明をして参ります。また，1月28日には府医師会の学校医部会総会で立入克敏先生が運動器検診について講演することが決まっています。その時に私の方からも京都市版の実施方法について説明することになりました。是非，多くの学校医の先生方へ出席して頂きたいと思います。

第35回京都市小学生持久走記録会

福西小学校校医 奥村正治

西京極総合運動公園の補助競技場で、持久走大会は行なわれました。1人、1500mを走ります。1周400mのグラウンド3周と3/4走る事になります。お天気が良すぎ、1500mはきつい感じでした。熱中症の子供さんが増えるかと思いましたが、さほどでもなかったです。

男子674人、女子471人、計1145人が（エントリー数）走りました。男子は25組（1組26～30名）、女子は17組（1組27～28名）が走りました。

又、同じグラウンドの中側、フィールドでは、本年から再開になったソフトボール投げがありました。こちらの方は、男子183人、女子65人、計248人が（エントリー数）投げました。男子A B C D組（1組31～32名）、女子A B組（1組32～33名）です。

目測ですが男子の一番遠投は65mぐらい、女子は49mぐらいでした。

医務もメイングラウンドとサブグラウンドに分かれ、私はサブの方を（補助競技場）担当しましたが、1例目は、運動誘発と思われるが咳こみがひどくなったケース、2例目は、走行後嘔吐（軽度の熱中症かと思われる）、3例目は過呼吸症候群、4例目は走行前に蜂にさされる（たぶん足長蜂）、5例目は走行後、呼吸がしにくくなったケースでした（SpO₂:96%）。1・3例目の子供さんは、気管支喘息の有病者の様でしたが、発作の発症には行きませんでした。

この5例がサブグラウンドの医務室を訪れたケースです。全員軽症で経過観察後、自宅にもどっております。

平成27年度 京都市小学生陸上記録会・持久走記録会

川岡東小学校校医 山内英子

10月18日（日）に西京極陸上競技場の主競技場で陸上記録会、サブグラウンドで持久走記録会が行われました。主競技場は山内、サブは奥村先生が医務の担当をいたしました。

当日は晴天、ほぼ快晴。気温もグングン高くなり、最高気温は28℃まで上がり、夏日でした。グラウンドも観客席も随分暑かったことでしょう。

フィールドの競技はしっかり見られませんでした。トラック競技は医務室から時々出ては観戦しました。

主競技場では競技が始まって1時間半ぐらい経ってから、アップの時点での軽い捻挫、後方の自転車と接触して軽度の打撲の来室者あり。激しい腹痛を訴えて来た児童もありましたが、横になって安静にしていた後は、トイレに行って（排便後）すっかり元気になってレースには無事参加。リレーの練習中に、子ども同士がぶつかって転倒し、前歯が欠け、両腰と膝に擦過傷を負ったお子さんは、本番走れないことは無かったのですが、本人が走らない…と断念しました。競技後に足が痛いと言った保護者の方が子どもを連れて来られ、これも軽い捻挫でしたが、お母さん

がつきっきりで、アイシング。テーピングをして欲しいと言われましたが、そこまでの事はできません。競技をするのはお子さんなのですが、小学生は保護者の方がおられるので、そちらの配慮も必要になってくるのですね…。

サブグラウンドは持久走でしたので、競技後咳がでたり、嘔吐したり、過呼吸になったりしたお子さんがおられたようですがいずれも医務室でOS-1を飲んだり、休んで元気になられたようです。

子ども達はその後も普通に登校して元気にしているとのことでした。

今回は、2か所の医務室で医師が待機していましたが、学校や保護者には徹底されていなかったのでは、持久走の終わった後で主競技場に来られたり、子どもがサブグラウンドの医務室に行っているのに、その保護者の方が主競技場の医務室に駆け込んで来られたり…

というようなことがありました。この辺りが課題でしょうか？

養護の先生が黒いスーツを着用されていたのが妙に印象に残りました。

京都府医師会指定学校医制度 単位取得講演会のお知らせ

第64回 近畿医師会連合学校医研究協議会総会

日 時：平成28年1月24日（日） 10：30～15：10

会 場：シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間
（大阪市天王寺区上本町6-1-55 TEL：06-6773-1111）

内 容：（1）開会式 （2）総会（報告・表彰） （3）研究発表
（4）講演 『学校で医療的ケアが必要な子どもの現状
～保護者の思いとこれからの課題～』

プール学院大学短期大学部・教授
大阪大学名誉教授 永井 利三郎 先生

（5）閉会式

第7回 常任理事会

平成27年12月5日
於 愛媛県松山市

出席者 林会長、竹内・井本副会長、杉本専務理事、
川勝常任理事、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理
事、奥村副議長、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 11/10, 11/17, 11/24
2. 精神衛生研究会 11/12
3. 京都市学校保健会研究発表会・表彰式
祝賀会・懇親会 11/14
於：研究発表会京都市総合教育センター
祝賀会 於：からすま京都ホテル
4. 運動器検診第2回検討委員会 11/25
於：京都市総合教育センター
5. その他

<協議事項>

1. 運動器検診について
2. 第30回 京都市小学校「大文字駅伝」大会
事前検診について 12/12, 12/19
3. 新任校医研修会について H28 3/31
4. 平成28年度 京都市学校医会総会講師について
5. 第64回 近畿医師会連合学校医研究協議会総会
について H28 1/24
6. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 12/1, 12/8, 12/15, 12/22
H28 1/5
2. 第65回 全国学校保健研究大会 12/3～4
於：愛媛県松山市
3. 第46回 全国学校保健・学校医大会 12/5
於：愛媛県松山市
4. 精神衛生研究会 12/10
5. 第30回 京都市小学校「大文字駅伝」大会事前
検診 12/12, 12/19
6. 第8回 常任理事会兼新年会 H28 1/9
於：ふく正
7. その他

<四肢の状態の検査 問診票>

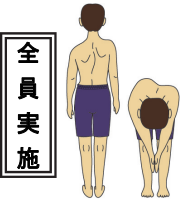
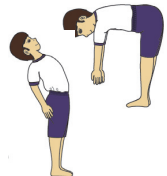

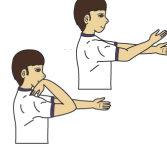




学校名 ()

太枠の保護者記入欄(1)～(3)をお答えください。 年 組 番 名 前 ()

保護者 記入欄 (1)	今までに骨・関節 などで治療を受けた ことがある場合は 記入してください。 ※1	年齢	部位	病名等	保護者 記入欄 (2)	現在取り組んで いるスポーツが あれば記入して ください。(バレエ、 ダンス等を含む)
		オ				
		オ				
		現在				

※1 今までに骨・関節などで治療を受けたことが多数ある時は、現在の症状に関係すると思われるものを書くようにして下さい。

※2 下記の質問の「医療機関」の中には整体、鍼灸、柔道整復は含みません。

保護者記入欄(3) あてはまる項目に○を記入ください。		学校での様子	
質問項目	回答欄	検 査	検査結果
せきちゆう ① 脊柱(背骨)のゆがみが気になる		 全員実施 <input type="checkbox"/> 両肩の高さに差 <input type="checkbox"/> 肩甲骨の高さ・位置に差 <input type="checkbox"/> 両脇線に差 <input type="checkbox"/> 前屈時の背面に差	<input type="checkbox"/> 姿勢注意 <input type="checkbox"/> 専門医受診
② 身体をそらしたり、曲げたりしたときに腰に痛みがある 【痛みがある場合のみ、お答えください。】 a. 医療機関は受診していない ※2 b. その痛みは一月以上続いている		 <input type="checkbox"/> 前屈で痛い <input type="checkbox"/> 後屈で痛い	<input type="checkbox"/> 経過観察 <input type="checkbox"/> 専門医受診
③ 腕を動かすと痛い 【痛みがある場合のみ、お答えください。】 a. 医療機関は受診していない ※2 b. その痛みは一月以上続いている		 <input type="checkbox"/> 腕が耳につかない(左・右) <input type="checkbox"/> パンザイで痛い(左・右)	<input type="checkbox"/> 経過観察 <input type="checkbox"/> 専門医受診
④ 腕に動きの悪い所がある 【動きの悪い所がある場合のみ、お答えください。】 a. 医療機関は受診していない ※2 b. その症状は一月以上続いている		 <input type="checkbox"/> 肘を曲げると痛い(左・右) <input type="checkbox"/> 肘が伸びない(左・右)	<input type="checkbox"/> 経過観察 <input type="checkbox"/> 専門医受診
⑤ 脚を動かすと痛い 【痛みがある場合のみ、お答えください。】 a. 医療機関は受診していない ※2 b. その痛みは一月以上続いている		 <input type="checkbox"/> 脚が痛い(左・右) <input type="checkbox"/> できない(左・右)	<input type="checkbox"/> 経過観察 <input type="checkbox"/> 専門医受診
⑥ 脚に動きの悪い所がある 【動きの悪い所がある場合のみ、お答えください。】 a. 医療機関は受診していない ※2 b. その症状は一月以上続いている		 <input type="checkbox"/> 動きが悪い(左・右) <input type="checkbox"/> しゃがめない	<input type="checkbox"/> 経過観察 <input type="checkbox"/> 専門医受診
⑦ 片脚立ちが5秒できない		 <input type="checkbox"/> できない	<input type="checkbox"/> 要指導 <input type="checkbox"/> 専門医受診
⑧ 足の裏を全部床につけて、しゃがみこむことができない		 <input type="checkbox"/> できない	<input type="checkbox"/> 要指導 <input type="checkbox"/> 専門医受診
⑨ その他気になることをお書きください。			()